

職員による自己評価

A環境面

賃貸なので手すりやスロープ、バリアフリーには出来ないものの段差（小さいもの）を埋める工夫や階段に滑り止めでカーペットを敷くなどしている

B児童への支援内容

個々に合わせてのプログラムを提供している

C関係機関との連携

定期的にモニタリングを行うなど、情報共有するようにしているほか、小さな事でも報告・相談をしている

D保護者への説明責任・信頼関係

利用時の送迎でコミュニケーションをとり情報交換を心がけている。又、保護者不在の児童に関しては、しっかり連絡帳の記入をして補足がある場合、電話やメールでやり取りを行っている

E非常対応

年に1回避難訓練をして都度改善を行っている

保護者による評価

A環境面

バリアフリーやスロープの関係で「どちらともいえない」が 7/21 件

B児童への支援内容

本人に合った活動や支援を提供してくれている。プログラムの固定化に関して「どちらともいえない」が 5/21 件

C事業所からの情報発信

100%満足

D非常対応

マニュアルの周知、説明に関して「どちらともいえない」が 4/21 件

事業所内での分析

【共通点】

- A 環境面で対応できない部分もあることは周知して頂いている
- B 活動内容に関しては個人が求めている物に合わせ、ルーティンが変わる事が苦手という特徴に
- C 対応している
- D 説明責任での父母会は希望されない方がほとんどで、それ以外の方法で説明を行っている
- E 周知ができていない

【相違点】

活動プログラムについて、事業所内での過ごしがあっても良いのではという声あり。

現在、かじやまでは外活動をメインにしており、室内では食事や課題、少し休憩を取る時のみ使用をしている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 3～4 チームに分けて個々に対応できるよう活動している
- ・ 体幹を鍛えるべくして平日でも外活動を行うようにしている
- ・ 課題は学校とすり合わせた個々に合わせた物を提供し、個別でしっかり対応できる

事業所の改善点

- ・ 悪天候時の過ごし方をもう少し工夫する
- ・ 休日プログラムの見直し

事業所の改善への取り組み

- ・ コロナも落ち着いてきた事もあり、休日は施設を利用したりしてプログラムに変化をつけ始めた所
- ・ 悪天候などドライブになりがちな外活動を施設利用したり、徐々に見直しを図ろうとしている

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

普段からコミュニケーションは保護者様としっかり取れているが、このように評価をハッキリと頂くと色々で見直せたり、継続またはより新しいサービスへのヒントとなり、とても役立っている。プログラムは固定化を望む声と少し変更してもという声があったり、改めて工程を見直す事にして常に要望に応じていきたいと思う。

事業所名 キッズタウンかじやま

担当者 安井 優子